



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月26日

上場会社名 株式会社 富士通ゼネラル

上場取引所 東

コード番号 6755 URL <https://www.fujitsu-general.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 斎藤悦郎

問合せ先責任者 (役職名) 経営執行役 (氏名) 加納俊男
コーポレートコミュニケーション室長

TEL 044-861-7627

四半期報告書提出予定日 2022年11月4日 配当支払開始予定日 2022年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向けオンライン説明会)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	182,975	36.1	2,485	51.6	7,809	43.5	4,977	57.1
2022年3月期第2四半期	134,418	6.2	5,134	33.5	5,440	35.1	3,167	48.9

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 6,736百万円 (154.8%) 2022年3月期第2四半期 2,643百万円 (69.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	47.54	
2022年3月期第2四半期	30.27	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	295,498	136,509	44.2
2022年3月期	268,633	131,454	47.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 130,617百万円 2022年3月期 126,173百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		16.00		16.00	32.00
2023年3月期		17.00			
2023年3月期(予想)				17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	390,000	37.3	18,000	113.2	22,000	92.9	13,000	249.2	124.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	109,339,548 株	2022年3月期	109,301,660 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	4,631,332 株	2022年3月期	4,630,910 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	104,689,348 株	2022年3月期2Q	104,658,644 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

- 2022年7月26日に公表いたしました連結業績予想のうち、通期について本資料において修正しております。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法及び四半期決算説明会の開催について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

また、当社は2022年10月27日(木)に機関投資家およびアナリスト向けの四半期決算説明会(オンライン形式)を開催する予定です。当日使用する説明資料については、TDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2022年4月1日から2022年9月30日まで）におきましては、海外向け空調機および電子デバイスの売上が増加し、連結売上高は1,829億7千5百万円（前年同期比36.1%増）となりました。

損益につきましては、海外向け空調機の販売物量拡大や売価改善効果はあったものの、素材・部品価格や海上運賃の高騰および円安によるコスト増などの影響が大きく、営業利益は24億8千5百万円（同51.6%減）となりました。経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益は、為替差益および上海工場の操業停止等に伴う特別損失の計上により、それぞれ78億9百万円（同43.5%増）、49億7千7百万円（同57.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<空調機部門>

空調機部門では、国内向けは上海市の都市封鎖の影響を挽回しきれず減収となったものの、海外向けは調達・生産・出荷オペレーションの正常化が着実に進展し、高水準となっていた受注残の出荷が順調に進むとともに、円安に伴う円換算増もあり、売上高は1,685億3千1百万円（同38.7%増）となりました。営業利益は、海外向けの販売物量拡大や売価改善効果はあったものの、素材・部品価格や海上運賃の高騰および円安によるコスト増などの影響が大きく、15億3百万円（同63.7%減）となりました。なお、生産リスク分散のため、タイ・上海両工場での柔軟な生産対応に取り組んでおり、下期から国内向け一部機種の子工場での生産を開始します。

[海外向け]

売上高は、1,463億8千2百万円（同60.9%増）となりました。

米州では、北米において、高水準となっていた受注残の商品出荷を進めたことから、省エネ性能に優れたルームエアコン、VRF（ビル用マルチエアコン）ともに販売が伸長し、売上が増加しました。なお、コマース市場の販路拡大に向け、省エネ性能や施工・サービス性に優れたVRFの大型機種を本年度下期に新たに投入し、商品ラインアップの強化を図ってまいります。

欧州では、環境負荷の低減を目的とした補助金政策やエネルギー価格高騰を背景にATW（ヒートポンプ式温水暖房システム）の販売が好調に推移しました。また、高水準となっていた受注残の商品出荷を進めたことから、ルームエアコン、VRFともに販売が伸長し、売上が増加しました。

中東・アフリカでは、市況が回復しつつあることに加え、高水準となっていた受注残の商品出荷を進め、売上が増加しました。

オセアニアでは、商品供給遅れの影響もあり、ルームエアコンの売上が伸び悩んだものの、サービスメンテナンス業務の受注が堅調に推移したことから、売上が増加しました。

アジアでは、主力市場のインドにおいて、猛暑の影響などで需要が好調に推移しているなか、ルームエアコンの販売が大幅に増加するとともに、ソリューション案件も堅調に推移し、売上が増加しました。なお、地産地消に向けた第一段階として、本年度下期よりインドでの現地生産を開始する予定です。

中華圏では、中国において、上海市の都市封鎖に伴う上海工場からの出荷減により、ルームエアコンの販売が減少したものの、台湾向けの販売が増加したことから、売上は前年同期を上回りました。

[国内向け]

売上高は、221億4千8百万円（同27.5%減）となりました。

第2四半期の販売は省エネ性の高い機種を中心に前年同期を上回ったものの、第1四半期において上海工場からの出荷が都市封鎖に伴い大幅に減少した影響が大きく、売上が減少しました。なお、業界No.1の暖房能力と高い省エネ性を実現した「ゴク暖 ノクリア」ZNシリーズの新型を本年11月に発売予定であり、寒冷地域における安全・快適な暖房の提供と化石燃料使用機器からの置き換えによる温室効果ガス排出量削減に貢献してまいります。

<情報通信・電子デバイス部門>

情報通信・電子デバイス部門では、電子デバイスの販売増により、売上高は131億4千3百万円（同13.0%増）となりましたが、情報通信システムの減収影響が大きく、営業利益は2億8千4百万円（同35.4%減）となりました。

[情報通信システム]

売上高は、50億8千4百万円（同16.4%減）となりました。

公共システムにおいて、デジタル化商談の一巡に伴う防災システムの納入案件減少が続くとともに、民需システムにおいても、外食産業向け店舗システムが依然低迷していることから、売上が減少しました。

〔電子デバイス〕

売上高は、80億5千9百万円（同45.2%増）となりました。

産業用ロボット向け電子部品・ユニット製造において、設備投資需要の増加を背景に販売が増加するとともに、車載カメラの販売増もあり、売上が増加しました。なお、本年7月よりパワーモジュールの外販を開始しており、好調な立ち上がりを見せております。

＜その他部門＞

売上高は13億円（同5.4%増）、営業利益は6億9千7百万円（同26.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末（以下、当第2四半期末）の総資産につきましては、受取手形、売掛金及び契約資産の増加などにより、前連結会計年度末比（以下、前年度末比）268億6千4百万円増加し、2,954億9千8百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金ならびに短期借入金の増加などにより、前年度末比218億9百万円増加し、1,589億8千8百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に加え、為替換算調整勘定の増加などにより、前年度末比50億5千4百万円増加し、1,365億9百万円となりました。なお、本年7月に譲渡制限付株式報酬としての新株式を発行したことにより、資本金および資本剰余金がそれぞれ47百万円増加しております。

この結果、当第2四半期末の自己資本比率は2.8%減少し、44.2%（前連結会計年度末は47.0%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間（以下、当期間）の営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、売上債権が増加したことによる運転資本の増加はあったものの、税金等調整前四半期純利益の計上および減価償却費を源泉とした収入などにより、34億9千5百万円の収入（前年同期は121億3百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、開発・生産設備、ITシステムへの投資などにより42億8千3百万円の支出（同36億7千8百万円の支出）となりました。この結果、当期間のフリー・キャッシュ・フローは7億8千8百万円の支出（同84億2千5百万円の収入）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、配当金の支払などがありましたが、金融機関から資金調達を行ったことにより、13億3千9百万円の収入（同15億1千9百万円の収入）となりました。

この結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物残高は、前年度末比13億3千4百万円増加し、155億3千7百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、調達・生産・出荷オペレーションの正常化が着実に進展しており、北米、インド向け等を中心に海外向け空調機の販売上積みを見込むとともに、円安に伴う円換算増もあり、売上高は前回予想を上回る見通しです。

損益につきましては、海外向け空調機の拡販や売価改善が進展するとともに、海上運賃の高騰が落ち着いていることや、生産地国通貨が想定より対ドル安で推移するなど為替の好転もあり、各利益とも前回予想を上回る見通しです。

連結業績予想

(単位：百万円)

	2022年3月期 通期 (実績)	2023年3月期	2023年3月期	増減額	増減率 (%)
		通期 前回(7/26)発表予想	通期 今回修正予想		
売上高	284,128	370,000	390,000	20,000	5.4
営業利益	8,444	17,000	18,000	1,000	5.9
経常利益	11,402	20,000	22,000	2,000	10.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,722	12,000	13,000	1,000	8.3

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,202	15,537
受取手形、売掛金及び契約資産	83,150	99,146
商品及び製品	54,012	55,618
仕掛品	3,418	3,826
原材料及び貯蔵品	15,606	16,116
その他	15,755	18,177
貸倒引当金	△216	△244
流動資産合計	185,929	208,177
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,432	37,983
機械装置及び運搬具	43,640	44,675
工具、器具及び備品	30,951	32,851
土地	8,900	8,900
建設仮勘定	468	1,498
減価償却累計額	△76,218	△80,449
有形固定資産合計	45,174	45,459
無形固定資産		
のれん	5,486	5,427
その他	13,789	15,229
無形固定資産合計	19,275	20,656
投資その他の資産		
投資有価証券	5,992	6,348
繰延税金資産	9,042	12,023
その他	3,227	2,843
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	18,253	21,205
固定資産合計	82,703	87,320
資産合計	268,633	295,498

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	58,072	68,207
短期借入金	8,509	12,712
未払法人税等	2,047	3,389
未払費用	19,536	22,913
製品保証引当金	4,659	5,025
海外事業等再編引当金	2,335	2,733
独禁法関連引当金	7,900	7,900
その他	13,042	16,044
流動負債合計	116,103	138,925
固定負債		
長期借入金	25	8
再評価に係る繰延税金負債	2,365	2,365
退職給付に係る負債	10,567	10,712
その他	8,116	6,976
固定負債合計	21,074	20,062
負債合計	137,178	158,988
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,124	18,172
資本剰余金	35	82
利益剰余金	104,660	107,963
自己株式	△5,023	△5,023
株主資本合計	117,797	121,194
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	768	891
繰延ヘッジ損益	—	△1,857
土地再評価差額金	4,759	4,759
為替換算調整勘定	3,079	5,850
退職給付に係る調整累計額	△230	△221
その他の包括利益累計額合計	8,376	9,422
非支配株主持分	5,281	5,892
純資産合計	131,454	136,509
負債純資産合計	268,633	295,498

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	134,418	182,975
売上原価	102,842	144,711
売上総利益	31,576	38,263
販売費及び一般管理費	26,441	35,777
営業利益	5,134	2,485
営業外収益		
受取利息	34	101
受取配当金	88	130
持分法による投資利益	220	259
為替差益	—	4,549
その他	243	576
営業外収益合計	586	5,617
営業外費用		
支払利息	47	104
為替差損	84	—
その他	148	189
営業外費用合計	280	293
経常利益	5,440	7,809
特別損失		
新型コロナウイルス感染症による操業停止等に 伴う損失	—	1,218
特別損失合計	—	1,218
税金等調整前四半期純利益	5,440	6,590
法人税、住民税及び事業税	2,613	3,380
法人税等調整額	△831	△2,334
法人税等合計	1,782	1,046
四半期純利益	3,658	5,544
非支配株主に帰属する四半期純利益	491	566
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,167	4,977

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	3,658	5,544
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△93	122
繰延ヘッジ損益	△90	△1,857
為替換算調整勘定	△739	2,839
退職給付に係る調整額	△0	9
持分法適用会社に対する持分相当額	△92	77
その他の包括利益合計	△1,015	1,192
四半期包括利益	2,643	6,736
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,115	6,023
非支配株主に係る四半期包括利益	528	712

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,440	6,590
減価償却費	3,290	3,717
のれん償却額	194	209
引当金の増減額 (△は減少)	△593	△74
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	54	107
受取利息及び受取配当金	△122	△232
支払利息	47	104
売上債権の増減額 (△は増加)	22,021	△7,521
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,021	2,643
仕入債務の増減額 (△は減少)	△8,350	△108
その他	△2,850	△545
小計	16,111	4,889
利息及び配当金の受取額	122	232
利息の支払額	△41	△112
法人税等の支払額	△4,089	△1,514
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,103	3,495
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,948	△2,290
有形固定資産の売却による収入	18	4
無形固定資産の取得による支出	△1,705	△1,852
その他	△42	△144
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,678	△4,283
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,681	3,792
長期借入金の返済による支出	△3	△2
配当金の支払額	△1,566	△1,671
その他	△592	△780
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,519	1,339
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	784
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,938	1,334
現金及び現金同等物の期首残高	36,707	14,202
現金及び現金同等物の四半期末残高	46,646	15,537

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	空調機	情報通信・ 電子デバイス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	121,549	11,635	133,184	1,234	134,418
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	642	642	173	815
計	121,549	12,278	133,827	1,407	135,234
セグメント利益	4,143	440	4,584	550	5,134

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,584
「その他」の区分の利益	550
四半期連結損益計算書の営業利益	5,134

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	空調機	情報通信・ 電子デバイス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	168,531	13,143	181,674	1,300	182,975
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	315	315	178	494
計	168,531	13,458	181,990	1,479	183,469
セグメント利益	1,503	284	1,788	697	2,485

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,788
「その他」の区分の利益	697
四半期連結損益計算書の営業利益	2,485

(収益認識関係)

当社グループは、売上高を顧客の所在地を基礎とした国又は地域に分解しております。
分解した地域別の売上高と報告セグメントとの関係は以下のとおりです。

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	空調機	情報通信・ 電子デバイス	計		
日本	30,565	10,984	41,550	1,234	42,784
米州	19,784	10	19,794	—	19,794
欧州	28,944	64	29,009	—	29,009
中東・アフリカ	11,347	—	11,347	—	11,347
オセアニア	12,661	—	12,661	—	12,661
アジア	10,145	132	10,278	—	10,278
中華圏	8,100	443	8,543	—	8,543
外部顧客への売上高	121,549	11,635	133,184	1,234	134,418

(注) リース取引に係る収益は、重要性がないため、売上高に含めて表示しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	空調機	情報通信・ 電子デバイス	計		
日本	22,148	11,710	33,859	1,300	35,159
米州	38,171	6	38,177	—	38,177
欧州	39,192	74	39,267	—	39,267
中東・アフリカ	25,862	—	25,862	—	25,862
オセアニア	15,045	—	15,045	—	15,045
アジア	18,194	224	18,419	—	18,419
中華圏	9,916	1,125	11,041	—	11,041
外部顧客への売上高	168,531	13,143	181,674	1,300	182,975

(注) リース取引に係る収益は、重要性がないため、売上高に含めて表示しております。